

**[33] アメリカ・アーキビスト協会  
ミュージアム・アーカイブズ・ガイドライン  
について**

デジタルアーカイブ学会第2回DAフォーラム  
オンライン

2022年6月26日(日)

筒井 弥生 CA

連絡先 Twitter @artemismarch

# 本報告の概要

○SAAミュージアム・アーカイブズ・ガイドライン  
改訂版が承認された報告とその手続きについて説明

○アメリカのミュージアム・アーカイブズのデジタルアーカイブ  
(ミュージアム・アーカイブズの  
デジタルアーカイブという語が使われている事例紹介)

☆参考文献・参照サイトの修正・追加

予稿：はじめに

- 2021年4月の第6回研究大会

「〔55〕アメリカ・アーキビスト協会ミュージアム・アーカイブズ・セクションの新ガイドライン案について」

[https://doi.org/10.24506/jsda.5.s1\\_s98](https://doi.org/10.24506/jsda.5.s1_s98) 参考文献のリンク切れ

- SAA Museum Archives Guidelines

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/museum-archives-guidelines>

↑ ガイドライン案

[https://www2.archivists.org/sites/all/files/MuseumArchivesGuidelines\\_FinalDraftForCommunityReview.pdf](https://www2.archivists.org/sites/all/files/MuseumArchivesGuidelines_FinalDraftForCommunityReview.pdf)

- 旧ガイドライン

<https://web.archive.org/web/20211205065800/https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/museum-archives-guidelines>

# 仮訳の手直しすべき点

求ム 校閲者！

⇔[筑波大学アーカイブズ年報5号](#) に

一次資料リテラシーのためのガイドラインを翻訳

[Guidelines for Primary Source Literacy](#)

• Councilの訳を評議員会から評議会（予稿においても）  
先行の翻訳に合わせた...

が、ICAのCは評議会 ちなみにICOMのCは会議

組織内のCは評議員会でいいのでは、と思い直し変更せず

• アメリカアーキビスト協会？アメリカン？

(・) 中黒をどう扱うか

# SAAのガイドライン

翻訳はSAAの活動の認知に貢献(出版局長)

先行の訳

- Guidelines for a Graduate Program in Archival Studies

2002, 改訂 2005, 2011, 2015, 2016

保坂裕興訳「アーカイブズ学における大学院課程の指針」『記録と史料』13

[http://www.jsai.jp/kanko/kaisi/13/+13\(18\)kirokuHosaka.pdf](http://www.jsai.jp/kanko/kaisi/13/+13(18)kirokuHosaka.pdf) 2002版

- [Guidelines for College and University Archives](#) 1999

清水善仁「大学アーカイヴズ理念論序説--SAAガイドラインを手掛かりに」

抄訳有 DOI [10.14989/68879](https://doi.org/10.14989/68879)

清水善仁 博士論文 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11521362> 全訳有

「戦後日本の大学における歴史的資料の管理と活用に関する研究：アーカイブズの視点から」

# ミュージアム・アーカイブズ・セクション

---

- 1980年頃 ミュージアム・アーカイブズ運動の盛り上がり
- 1984年 ガイドライン案の配付と本の刊行
- 1986年 ラウンドテーブル設置←タスクフォース
- 1990年 セクションに昇格
- 2003年 ガイドライン策定(1998年から)+マニュアル本作成

- 2018年 ガイドライン見直し開始
- 2021年1月 改訂案公表と意見募集
- 2022年2月 評議員会での承認
- 2022年4月 改訂版ガイドラインの公表
- 2022年5月 評議員会の議事録発表

前半は拙稿より [https://doi.org/10.24537/jads.27.28.0\\_75](https://doi.org/10.24537/jads.27.28.0_75) (2020年)

## 2.1 ガイドライン改訂の背景

- ・アップデート つまり時代遅れになった

その主な理由

- ☑旧ガイドラインは2003年の改訂

- ☑新しい技術やボーンデジタル記録の出現によって

ミュージアム・アーキビストの機能に変化

⇒ 2020年から21年にワーキング・グループによってミュージアム・アーカイブズにとってのニーズと課題をより反映したガイドラインに更新、ベストプラクティスもアップデート。

⇒5年毎の見直しへ

# ボーンデジタル記録の問題への取り組み

- 2015-2016年 ボーン・デジタル・リソース

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/born-digital-resources#.V2IJJvkrLJI>

- 2016年にシンポジウム

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/born-digital-records-in-museum-archives-symposium-2016>

# 今回の改訂の過程 評議員会アジェンダから

<https://www2.archivists.org/sites/all/files/0222-II-C-MuseumArchGuidelines.pdf>

標準委員会へのパッケージ III.B Google Drive より

- 2018年8月 セクションミーティングでワークショップ
- 2018年9月中旬～11月 ①ワーキング・グループ、小グループに分かれてガイドラインの目標、対象者、フォーマットについて議論、疑問点を洗い出す ②現行ガイドラインをセクションミーティングのフィードバックに沿って評価 ③現行ガイドラインを他のグループにとって内容やフォーマットを評価 ④議論や調査に基づいて仮の推薦書を作成
- 2019年2月～3月中旬 ⑤アンケート調査を実施
- 2019年3月中旬～8月 全てのフィードバックを集め次の段階を決定  
セクションミーティングで報告

# 今回の改訂の過程 つづき

- 2019年9月24日～11月11日 ワーキンググループ改訂案を執筆、セクションのリーダーたちによる検討
- 2020年春～夏 標準委員会への“標準改訂の申請”を完成・提出。改良した案を準備。最終案をセクションのリーダーに提出。ガイドラインのビジョン声明書と紹介文を執筆
- 2020年夏SAA年次大会 セクション・ミーティングで発表
- 2020年秋から2021年夏 ガイドライン案に対するセクション内のフィードバックを収集。外部の団体に検討とコメントを求める。フィードバックを考慮して変更を加える。セクション・リーダーらによる最終検討。標準委員会へのパケット提出。

# 改訂案の修正 2か所

- 前文 Specific examples ~ is available ⇒ are available

- 6. Records Management

**The museum archives may be** consulted for recommendations on the maintenance of permanently active records of archival value in noncustodial situations ~ ⇒

ミュージアム・アーカイブズは・・・相談に応じることもある。

**The museum archivist should be** consulted for recommendations on the maintenance of permanently active records of archival value in noncustodial situations ~

ミュージアム・アーキビストは・・・相談に応じるべきである。

→ミュージアム・アーキビストに相談せよ！

# ガイドラインのアップデート

- セクションによるパケットの提出

ガイドライン改訂版

改定の経緯

寄せられた意見

- [標準委員会](#)による推薦

支持声明書：承認によって標準のポータルに掲載され、SNSで共有され、必要とする専門職が自由にアクセスできる。セクションは最新情報を提供する。

戦略的優先事項への影響：目標2(専門職の成長を促す)と4(時代遅れの標準の代わりに最新の情報を提供することにより会員のニーズを満たす)。

財政的影響：ガイドラインの改訂を承認することで、財政的影響をSAAに与えることはない。

<https://www2.archivists.org/sites/all/files/0222-II-C-MuseumArchGuidelines.pdf>

# 注目点

- 新しい技術やボーン・デジタル記録の出現  
⇒ 7. Infrastructure physical & digital
- 10. Repatriation 返還/賠償

**アメリカ先住民墳墓保護・返還法 NAGPRA**

**Native American Graves Protection and Repatriation Act**

⇒ Archival Repatriation Committeeの創設 2022年5月

# 旧ガイドラインとの比較

⇒2021年4月報告のスライド参照

専門的に管理された新しいミュージアム・アーカイブを設立するための手順を概説



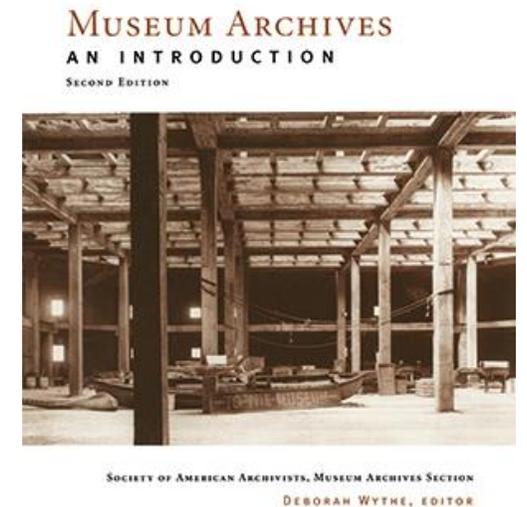
すべてのミュージアム機能と統合された、機能も拡張されたダイナミックなリポジトリを提唱

アーカイブズを他の部門と同等の組織レベルと報告ラインに位置づけ

すでにあるミュージアム・アーカイブズの維持・拡充

# ミュージアム・アーカイブズをはじめめる (米国事例)

- Museum Archives : An Introduction by William A. Deiss  
<https://catalog.hathitrust.org/Record/000291793> 1984年
- Museum Archives : An Introduction Second edition  
<https://catalog.hathitrust.org/Record/004924953> 2004年  
旧ミュージアム・アーカイブズ・ガイドライン所収
- Starting from Scratch: How to Create a Museum Archives  
by Sammie L. Morris, 2006年  
[https://docs.lib.purdue.edu/lib\\_research/45/](https://docs.lib.purdue.edu/lib_research/45/)



- [ペンシルベニア歴史協会 小さなアーカイブズのためのリソース](https://hsp.org/sites/default/files/images/HCIPSAR/maam_sarah_online.pdf)

Advice for Museum with Archival Collections

[https://hsp.org/sites/default/files/images/HCIPSAR/maam\\_sarah\\_online.pdf](https://hsp.org/sites/default/files/images/HCIPSAR/maam_sarah_online.pdf)

近日刊行予定の本

• *Museum Archives: Practice, Issues, Advocacy* edited

by Rachel Chatalbash,

Susan Hernandez,

Megan Schwenke

(Standards & Best Practice WG Co-Chairs)

# 3. アメリカの ミュージアム・アーカイブズの デジタルアーカイブ

～行ったことがあるところに絞りました～

[メトロポリタン美術館](#)

[フィラデルフィア美術館](#)

[ヒューストン美術館](#)

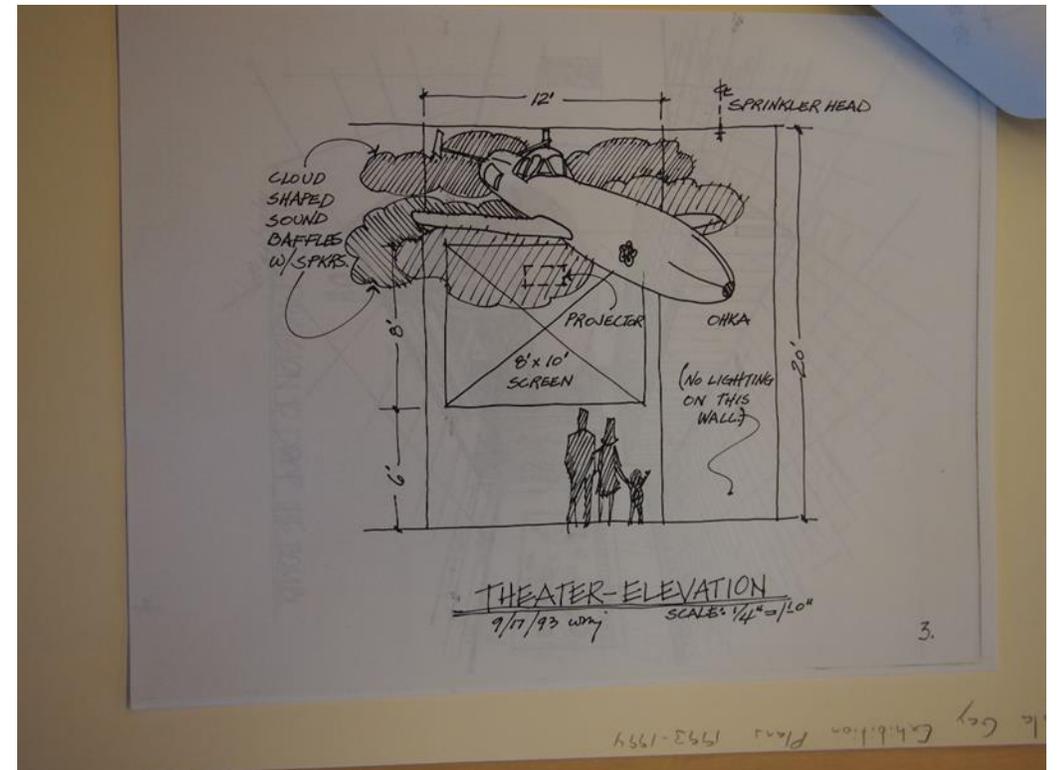
[アメリカ自然史博物館](#)等々もすばらしいのですが…

(発表時にご覧に入れた収蔵庫内等の写真は省きました。)

# スミソニアン協会アーカイブズ(SIA) Smithsonian Institution Archives

- [https://www.si.edu/siasc/si\\_archives](https://www.si.edu/siasc/si_archives)

1995年に中止になったエノラ・ゲイ展の資料 当時の館長の資料



# スミソニアン協会アーカイブズ つづき

- アーカイブズのデジタルコレクション

<https://siarchives.si.edu/collections>

- スミソニアン協会アーカイブズ、デジタルキュレーション

<https://siarchives.si.edu/what-we-do/digital-curation>

スミソニアン協会全体のコレクションサーチ

<https://collections.si.edu/search/>



スミソニアン協会  
アーカイブズ・オブ・アメリカン・アート  
Smithsonian Archives of American Art (AAA)

- 2014年SAA年次大会見学会に参加
- 国立近代美術館アトライブラリ 公開講演会2016年  
<https://www.momat.go.jp/am/library/aaa20160618/>
- 渡邊 美喜 「日本におけるミュージアム・アーカイブズの萌芽—戦後草創期開館の美術館にみる—」  
<http://hdl.handle.net/10959/00005025>  
旧ガイドラインの説明もある

# スミソニアン協会国立アジア美術館

## National Museum of Asian Art

- フリーア美術館 | アーサー・M・サックラー・ギャラリー
- 2010年SAA大会で見学、その後数回訪問している
- アリス・ルーズベルト・ロングワースの1905年タフト・アジア訪問団の写真コレクション

## Alice in Asia: The 1905 Taft Mission to Asia - Smithsonian's National Museum of Asian Art

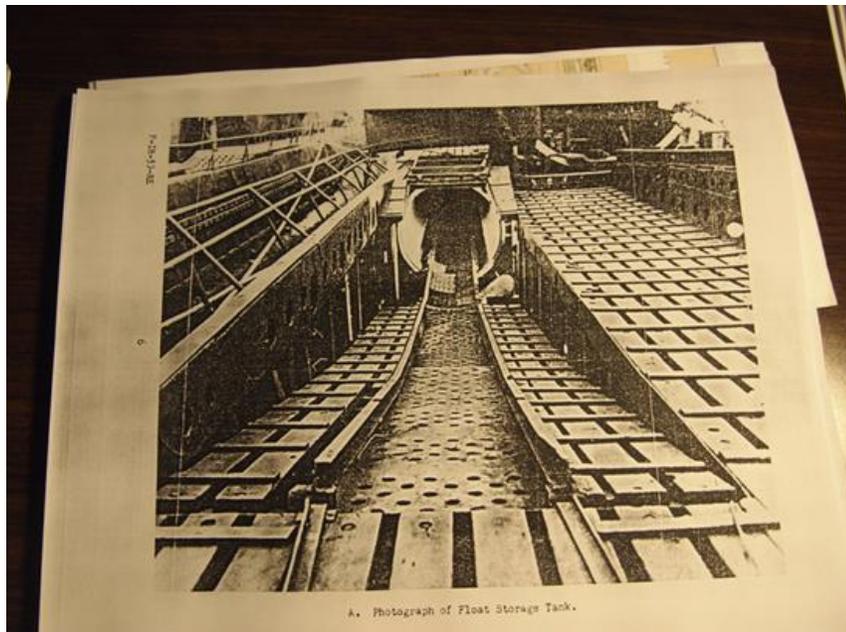
関連の拙稿 [アリス・ルーズベルト旧蔵写真を通してみる日露戦争外交の一面](#)

# スミソニアン協会国立航空宇宙博物館

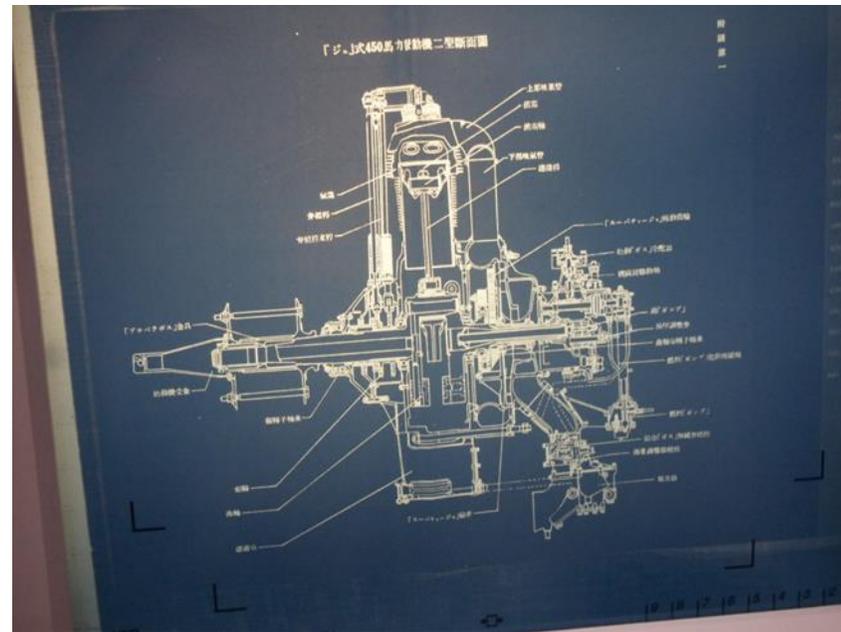
## National Air and Space Museum

2015年、2016年、2018年、2019年訪問

↓ 伊400内部



↓ 航空機エンジン部品



# 国立航空宇宙博物館アーカイブズ デジタルアーカイブ

<https://airandspace.si.edu/archives>

- フィルム・アーカイブズ  
アメリア・エアハート他 [YouTube例](#)
- 写真アーカイブズ
- 音声コレクション
- 飛行機ヒストリー・カード
- 設計図面
- 飛行機の操縦マニュアル
- **接收技術文書**
- 技術参考ファイル

[SOVA Smithsonian Online Vitual Archives](#)



# ナショナル・ギャラリー（ワシントンDC）

2014年SAA大会見学会に参加

- National Gallery of Art Archives

<https://www.nga.gov/research/gallery-archives.html>

モニュメントメン

<https://www.nga.gov/research/gallery-archives/world-war-ii-resources.html>

# NGA Kress Collection Digital Archive

<https://kress.nga.gov/>



- CollectiveAccess

<https://www.collectiveaccess.org/>

★オープンソース



# ゲティ研究所

2012年訪問

- Getty Research Institute <https://www.getty.edu/research/>  
Special Collection  
[https://www.getty.edu/research/special\\_collections/](https://www.getty.edu/research/special_collections/)  
Institution Archives  
[https://www.getty.edu/research/special\\_collections/institutional\\_archives/index.html](https://www.getty.edu/research/special_collections/institutional_archives/index.html)

松山ひとみの報告 平成30年度

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan\\_hakubutsukan/shinko/about/kenshu/haken/houkoku/pdf/r1409641\\_02.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/shinko/about/kenshu/haken/houkoku/pdf/r1409641_02.pdf)

# NPS ロングフェロー邸

2017年訪問

現在の特集

- Black History
- LGBTQ History

Research Archives

<https://www.nps.gov/long/learn/historyculture/research.htm>

国立公園ギャラリー

<https://npgallery.nps.gov/LONG>

Search All 1220点 チャールズのコレクションからは25点

第一回DAフォーラムで紹介



チャールズの刺青 Facebookより

# ケント州立大学 May 4

<https://www.kent.edu/today/may-4>

2015年クリーブランド大会で見学

ケント州立大学はオンラインでアーキビスト養成コース開講



ケント州立大学図書館スペシャル・コレクション  
デジタルコレクション

<https://omeka.library.kent.edu/special-collections/>

May4 Kent State Shootings デジタルアーカイブ

<https://omeka.library.kent.edu/special-collections/kent-state-shootings-digital-archive>

# テキサス大学オーステイン校 ブリスコー・アメリカ史センター

- 森本祥子, 「これからのアーキビスト養成の課題についての一考察：アメリカの現状をふまえて」

<http://hdl.handle.net/10959/2635>

- 三輪宗弘 「テキサス大学オーステイン校ブリスコセンター (The Dolph Briscoe Center for American History) の利用ガイド：Exxon Mobil 資料を中心に」

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390290699820537216>

筒井) アメリカ・アーキビスト協会オーステイン大会参加記

<http://hdl.handle.net/10959/00005028>

# ブリスコーセンターと原爆写真展

日本経済新聞の紹介記事

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF060BT0W1A201C2000000/>

写真集 *Flash of Light, Wall of Fire* (閃光、そして炎の壁)

[Flash of Light, Wall of Fire - Dolph Briscoe Center for American History](#)



写真は2019年夏ACA30周年で訪問時  
2009年夏にも訪問

## 4. “おわりに”から

- [東京都美術館](#)
- [金沢21世紀美術館](#) <https://www.kanazawa21.jp/>
- [国立新美術館](#) [アーカイブ資料一覧・概要](#)
- [埼玉県立近代美術館](#) <https://pref.spec.ed.jp/momas/>
- [大阪中之島美術館](#) <https://nakka-art.jp/>  
<https://nakka-art.jp/wp10/wp-content/uploads/2022/04/archives-press0422.pdf>
- [東北大学史料室](#)  
[東北大学総合学術博物館](#) [スミソニアンとの関係](#)

# 日本での調査研究

☆明治大学 科研

<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16K01200/>

"博物館学国際セミナー報告書「博物館アーカイブスの構築」"

☆全国美術館会議 情報・資料研究部会

「美術関係アーカイブズ資料所在調査」

[https://www.zenbi.jp/data\\_list.php?g=87&d=124](https://www.zenbi.jp/data_list.php?g=87&d=124)

# ○公文書等の管理に関する法律

- 公文書は国民の資産
- 意思決定の過程がわかる記録を後世に伝える

☆歴史的文化的な資料又は学術研究用の資料

施行令 五条・六条

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=422C00000000250>

国立の博物館、美術館等の法人文書への適用可能性

# “プラットフォーム”について

## 情報交換を希望

- [ジャパン・サーチ](#)？ [情報爆発](#)？
- [AtoM](#) vs [Omeka](#) vs [ArchivesSpace](#) (オープンソース)  
あるいは米企業のコレクションマネジメントシステム [PastPerfect](#) vs [CatalogIt](#)  
AtoM大阪の事例 <https://atom.log.osaka/>
  - ★オープンソース[CollectiveAccess](#)は評判がいいようだが・・・
- [note](#) や [notion](#)  
Notion の事例 立教大学いろどりプロジェクト <https://rampo.net/>  
☆SIG「戦争関連資料に関する研究会」への期待  
<https://www.facebook.com/108094571082793/>  
その他の米国事例
- TPS Collective <https://tpscollective.org/>
- Online Archive of California  
<https://oac.cdlib.org/institutions/>

ありがとうございました！

追加情報はResearchMap  
<https://researchmap.jp/TSUTSUIYayoi>

のブログにあげていく予定です。